

# ブロードバンドゼロ事業の光ファイバーケーブル設備更新について

令和5年11月2日議会全員協議会  
令和5年度11月補正予算関連資料  
企画部都市プロモーション課



平成22年度に「ブロードバンドゼロ地域解消事業」で整備した東部地区の光ファイバー設備について、機器が経年劣化により故障したことから、システム構成上、センター設備も含めた大規模な更新を行うもの。

## 1 設備の概要

- 設置目的：情報通信格差の是正のため
- 提供エリア：稲瀬、更木、臥牛
- 提供方法：IRU契約（破棄し得ない使用权）により北上ケーブルテレビが運営（契約世帯数：テレビ31、インターネット39）
- 整備年度：平成22年度
- 整備費：102,825千円（地域情報通信基盤整備推進交付金等）
- システム構成：センター設備（光送信設備、管理装置）、線路設備

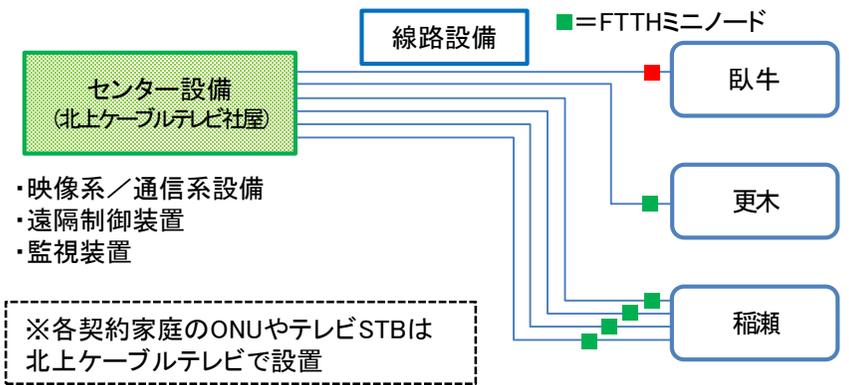
## 2 設備更新検討の経緯

- ・3/4 臥牛地区でテレビ受信障害発生。  
⇒FTTHミニノード（光通信増幅装置）の故障
- ・3/5 メーカーから代替機器の貸与を受け復旧。
- ・当該機器はメーカー生産もサポート期間も終了し、後継・類似機種も生産停止となることが判明し、対応策を検討開始。

## 3 必要性

当設備がないと高速インターネット通信が利用できない区域とテレビ観視聴区域が生じるため、設備の維持・更新が必要。

## 4 システム概要図（現状）



## 5 設備更新の方針

- ①当該機器はメーカーでも在庫がなく、さらに故障が発生した場合、長期のサービス停止となるおそれがある。
- ②世界的な半導体供給の情勢が不安定で、機器の発注から納品までに時間を要する可能性がある。  
⇒早期の発注が必要（工期＝12カ月程度）
- ③現システムで採用している屋外柱上型ミニノードは主流ではなく、他のメーカーでも取り扱いがない。
- ④光通信方式はメーカーごとに異なるため、一部の機器だけを他のメーカーに入れ替えることができない。  
⇒システム構成を見直し、機器の総入れ替えを行う。
- ⑤各契約家庭に設置しているONUも交換が必要。  
⇒市保有設備の老朽化に伴うものであり、原因者負担とする。

【工事請負費】70,400千円（辺地債充当）＋【補償費】2,244千円  
＝【計】72,644千円

債務負担行為で1月以降契約、歳入歳出は令和6年度当初予算で計上

## 6 システム概要図（更新案）

